

ロクハ公園プールの再整備に関する市場ニーズ調査（公募型）

【実施結果】

事業について

- 代表企業・構成企業いずれの立場での参画も可能であるとの意見が多かった。
- 市内児童遊園の指定管理業務を含めた場合でも参画検討は可能であるとの意見もあった。

導入機能及び活用方策について

- 既存機能の魅力向上に加え、新たなプール施設・プール付帯施設の導入や公園全体を活用した多彩なソフト事業（テントサウナ・グランピング、イルミネーション、クリスマスマーケット、水泳教室、健康教室、ウォーキング、子ども体操等）の提案が得られた。
- 事業継続に向けた収益性確保のため、通年利用可能な温水プールの提案があった。

事業スキームについて

- 事業方式としては、「DBO 方式」が望ましいとの回答が得られた一方で、「設計・建設事業者と維持管理・運営事業者を区分して募集する事業方式」でも可能との意見であった。
- 事業期間は、人材育成や投資回収等の視点から 10 年以上の長期を希望する意見が多かった。
- プールを除いた Park-PFI の実施は可能であるが、事業採算上、時期や導入機能を慎重に検討する必要があるとの意見もあった。
- ロクハ公園全体の一体的な維持管理・運営を図るためにも、公園全体の維持管理・運営業務と自主事業は、同一の企業体とすることが望ましいとの意見があった。

本事業への参画意向について

- 参加したすべての事業者が「条件によっては参画したい」と回答した。
- 一定の公募条件が示された段階で具体的な参画検討が可能となるとの意見が挙げられた。
- 参画を検討する上での主な課題としては、「物価上昇等に対する適切なリスク分担の設定」「適切な予算の設定」等の意見が挙げられた。

その他

- 公募条件については、事業者の提案余地を確保しつつ、市として一定の方針を示す必要があるとの意見が得られた。
- 事業者募集・選定時の審査については、提案内容を重視した評価基準を設定するとともに、市として評価する点の明確な提示をした方が望ましいとのことであった。